

課題曲に関する重要注意事項 必ずお読みください（全3ページ）

■全部門共通

① 使用楽譜の版は問わない。 *ただし、ワルツ Op.69-1、Op.69-2、Op.70-1、Op.70-2 を選択する場合、パデレフスキ版を使用する際は BIS でない方を、ヘンレ版を使用する際は Fontana 版を選択することを推奨する。また、エキエル版を使用する際は、パデレフスキ版の BIS でない方、あるいはヘンレ版の Fontana 版と同じ繰り返しをすることを推奨する。 *ただし、一部の楽曲はエキエル版を選択することを推奨する（ソロアーティスト部門・ショパニスト各部門が該当。詳細は各部門の課題曲欄を参照すること）。
② すべて暗譜で演奏すること（ショパニスト S 部門を除く）。
③ 「任意の独奏曲」で複数曲を選択する場合、上限は3曲とする。なお、課題曲コード1つで1曲とみなすので注意すること。 ※「24の前奏曲 Op.28」を選択する場合も上限は3曲なので気を付けること。
④ 各グループ（A,B）内で複数曲演奏する際は、申込時に演奏する順で登録すること。
⑤ 「マズルカ」「24の前奏曲」について：同じ作品番号内では、番号が若い順に演奏すること。 「ソナタ」「コンチェルト」について：同じ作品番号内では、楽章が若い順に演奏すること。 例) 可：Op.24-3 →Op.7-1（マズルカ）／ Op.35-1 楽章 →Op.35-4 楽章（ソナタ） 不可：Op.24-3 →Op.24-1（マズルカ）／ Op.35-4 楽章 →Op.35-1 楽章（ソナタ） *ただし、ショパニスト各部門においてはこの規定に従わなくてもよしとする。
⑥ 課題曲ページに特別指定のある場合以外は、原則としてダ・カーポ以外の繰り返しは全て省略すること。
⑦ コンクールの進行上、やむを得ず演奏を一部カットして審査する場合がある（状況によっては大幅なカット、あるいは登録した曲がすべて審査されない場合がある）が、カットの有無に関わらず、課題曲は通しで演奏できるようにすること。カットが行われた場合も審査への影響はない。
⑧ 小学生などでオクターブが届かない場合は、省略・分散和音にして演奏しても構わない。
⑨ 各大会の申込時に一度登録した課題曲は変更できない。
⑩ 過去の大会における最終審査（アジア大会／オンライン決勝大会）の金賞受賞者が、再び同じ部門で、同一の最終審査に参加する場合には、金賞受賞時とは異なる課題曲で参加することを推奨する。
⑪ 幼児部門ではペダルの使用は認めない。足台の使用は可。
⑫ オンライン審査のための動画撮影ルール・ガイドライン等は追って発表いたします。
⑬ 上記各項目の他、各部門に規定された演奏時間との著しい過不足、カット指定の無視（コンチェルト部門での伴奏を含む）、申請した曲順と異なる曲順での演奏、バッハの平均律を「プレリュード」から演奏した場合等、本開催要項の定めとの違反がある場合、減点・失格となる場合があるので注意すること。

その他、課題曲に関しての「よくあるご質問」は随時ウェブサイトへ掲載いたします。

次のページへ続く↓

■「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22」について

規定時間に制約が有る場合、ポロネーズのみの演奏も可。その場合は必ず "Allegro Molto" より演奏を開始すること。申し込む際も、ポロネーズのみの課題曲コード【C104】を選択すること。

■プロフェッショナル部門

2次審査を通過した場合、2次審査と最終審査の間（1月19日）に弦楽四重奏（予定）とのリハーサルを実施する。会場や時間等の詳細については、2次審査の結果発表時に告知する。

■コンチェルト I・AA・AB・B・C 部門、ショパニストコンチェルト A 部門

コンチェルト I, AA, AB, B, C 部門 (全国大会) ショパニスト コンチェルト A 部門 (地区大会)	2台ピアノでの審査となる。各自で伴奏者を手配すること。参加者自身で伴奏者を見つけることが困難な場合には、事務局にて伴奏者（東京近郊在住）を紹介することも可。ただし、リハーサルや撮影日時・会場の調整、謝礼の確認・支払等は参加者各自で行うこと（謝礼の目安はお知らせいたします）。 * 紹介した伴奏者がお引き受け出来ない場合もございます。また、演奏（伴奏）の内容・相性等については保証いたしかねますので、ご了承の上お問い合わせください。								
コンチェルト全部門 (アジア大会)	弦楽四重奏による伴奏での審査となる（予定）。 下記の日程のうち事務局が指定する時間・会場・内容にて一度リハーサルを実施します。詳細は全国大会の結果発表時に（ショパニストコンチェルト A 部門は、12 月末までに）お知らせします。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th><th>アジア大会リハーサル</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ショパニストコンチェルト A 部門 コンチェルト B 部門</td><td>1 月 12 日（火）</td></tr> <tr> <td>コンチェルト C 部門</td><td>1 月 14 日（木）</td></tr> <tr> <td>コンチェルト I・AA・AB 部門</td><td>1 月 16 日（土）</td></tr> </tbody> </table> * 参加者による日時の指定はできませんので、どの時間でも参加できるように予定の調整をお願いします。 * 弦楽四重奏の来日が不可能になるなどの理由により、アジア大会が開催できない場合には、開催日を大幅に延期、または開催中止とする場合もございます。アジア大会が開催中止となる場合には、全国大会（コンチェルト I・AA・AB・B・C 部門）が本年度ホール審査の最終審査となることを予めご了承ください。	部門	アジア大会リハーサル	ショパニストコンチェルト A 部門 コンチェルト B 部門	1 月 12 日（火）	コンチェルト C 部門	1 月 14 日（木）	コンチェルト I・AA・AB 部門	1 月 16 日（土）
部門	アジア大会リハーサル								
ショパニストコンチェルト A 部門 コンチェルト B 部門	1 月 12 日（火）								
コンチェルト C 部門	1 月 14 日（木）								
コンチェルト I・AA・AB 部門	1 月 16 日（土）								

■カットの指定について

指示のある部門のみ、以下のカットを行うこと。また、指定された部分以外のカットは認めない。

●ショパン：スケルツォ第 1 番 口短調 Op.20 ⇒第 1 括弧をカット。第 125～240 小節をカット	
●ショパン：スケルツォ第 2 番 変口短調 Op.31 ⇒第 133～264 小節をカット。第 366～467 小節をカット	
中学生・高校生・大学生部門 ソロアーティスト部門 ショパニスト A・B・S 部門	地区・全国・アジア大会・オンライン決勝大会すべてにおいて、カット有りて演奏すること。 * 申込の際、演奏時間はカット後の時間で計算すること。
コンチェルト AA・AB・B・C 部門	地区大会において、カット有りて演奏すること。 * 申込の際、演奏時間はカット後の時間で計算すること。

* プロフェッショナル部門では上記のカットを行わない（ただし第 1 括弧は省略すること）。

次のページへ続く ↓

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第1楽章（伴奏のみカット） ⇒前奏は第130小節までカット、第131小節より演奏 ⇒第355小節まで弾き、そして第377小節に飛ぶ ⇒第486小節の第1拍だけを弾き、続けて第505小節の第2拍に続ける ⇒第671小節の代わりに第687小節から演奏し、終わる ●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第2楽章（伴奏のみカット） ⇒前奏は第6～10小節をカット	
●ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21 第1楽章（伴奏のみカット） ⇒第65小節より演奏 ⇒第181小節第1拍を半拍弾き、カット ⇒第197小節第1拍裏拍から演奏 ⇒第337小節の代わりに第347小節から演奏し、終わる	
プロフェッショナル部門	上記の指定伴奏部分を、最終審査においてカットすること。
コンチェルト B・C 部門	上記の指定伴奏部分を、全国大会・アジア大会においてカットすること。
ショパニストコンチェルト A 部門	上記の指定伴奏部分を、地区大会・アジア大会においてカットすること。

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第1楽章（独奏版） ⇒前奏は第130小節までカット、第131小節より演奏 ⇒第131小節から第355小節まで弾き、そして第377小節に飛ぶ ⇒第486小節の第1拍だけを弾き、続けて第505小節の第2拍に続ける ⇒第671小節の第1拍だけを弾き2拍休符、続けて688小節から演奏し終わる。	
●ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21 第1楽章（独奏版） ⇒第65小節より演奏 ⇒第181小節第1拍を半拍弾き、カット ⇒第197小節第1拍裏拍から演奏 ⇒第337小節の第1拍だけを弾き、1拍休符、続けて第347小節第3拍から演奏し終わる。	
ショパニスト B 部門 (ピアノ独奏版を選択した場合)	上記の指定伴奏部分を、地区・全国・アジア・オンライン決勝大会すべてにおいて、カット有りで演奏すること。

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第2楽章（独奏版） ⇒前奏は第6～10小節をカット	
ショパニスト A・B・S 部門 (ピアノ独奏版を選択した場合)	上記の指定伴奏部分を、地区・全国・アジア・オンライン決勝大会すべてにおいて、カット有りで演奏すること。

●グレッキ：若きショパン風ピアノ協奏曲 第1番（伴奏のみカット） ⇒第17小節から演奏	
●グレッキ：若きショパン風ピアノ協奏曲 第2番（伴奏のみカット） ⇒第7小節から演奏	
●グレッキ：古典風ピアノ協奏曲（伴奏のみカット） ⇒第29小節2拍目のアフタクトから演奏	
●グレッキ：バロック風ピアノ協奏曲（伴奏のみカット） ⇒第6小節から演奏	
コンチェルト AB 部門	上記の指定伴奏部分を、全国大会においてカットすること。
ショパニストコンチェルト A 部門	上記の指定伴奏部分を、地区大会においてカットすること。